

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム かえで

目標達成計画書

作成日: 平成 28 年 3 月 23 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の共有と実践	ベテラン職員が多いので、理念に関しては十分理解していると考え、理念について話し合う機会もないので、理念の意義を理解し、介護の実践に取り組んでいく。	毎日の申し送りや職員会議の中で、職員が理念を唱和し、理念の意義を改めて見直し、理念に基づいた介護が出来ているかを確認し、利用者本位の介護サービスの提供に取り組んでいく。	3ヶ月
2	10	運営に関する利用者、家族等意見の反映	運営推進会議に家族の参加が多いので、家族と話し合う機会を設け、家族が何でも話しやすい関係の中で、職員と信頼関係を築き、利用者や家族の意見や要望を聴き取り、ホーム運営や介護計画に反映させていく。	家族と話し合える家族会を立ち上げ、家族同士で話し合ったり、相談したりする場を設け家族間の交流とホームとの信頼関係を構築し、利用者がいつまでも、慣れ親しんだ地域の中で暮らせる支援に家族と一緒に取り組んでいく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。